



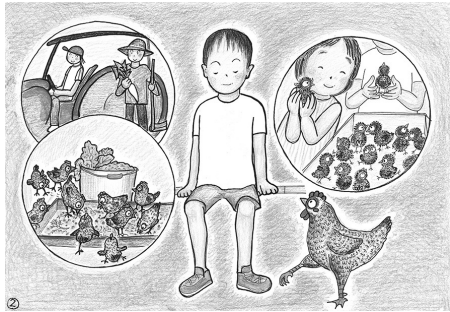
脚本 たらお みはる
絵 やまごき ともこ

さくらちゃん と ぼく

①

ぼくの おとうさんとおかあさんは
たまごをうる おしごとを している。
たまごやさんだ。
だから うちには
にわとりが たくさん いるんだよ。
みくんな たいせつな かぞくだよ。

ぬ く



②

このこたちは　うちにきたとき　ひよこだったんだよ。
まっくろくて　ピヨピヨ　ピヨピヨ
いもうとは

「ふ〜わふわで　きもちいいー！」　って
ほおずりしてたっけ

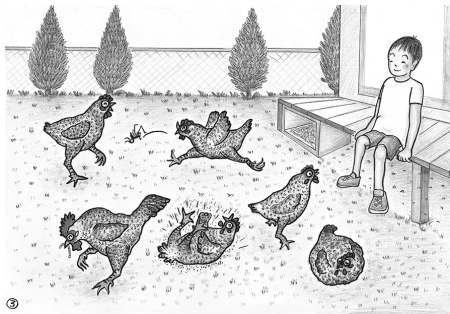
ひよこを　おおきくそだてるには
ごはんが　たいせつなんだって。

だから、おとうさんとおかあさんは
おこめやさんや　おそばやさんから
もらってきたものを

なんしゅるいもまぜて、えさをつくる。
もちろん、おとうさんのつくったやさいも。

ひよこたちは　おいしいって　もりもりたべて
りっぱな　にわとりになった。

ぬ　く

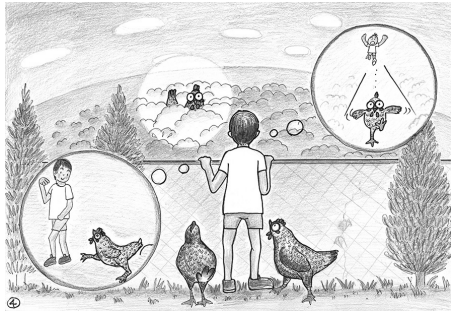


③

さんかげつまえから けがをした にわとりが
ぼくの うちの にわで くらすようになった。
ひるまは しばふのうえで じゆうに すごす。
よく みると いちわいちわ ちがうんだよ。
だから なまえをつけたんだ。

あのモフモフしているのが 「もふちゃん」
すなあそびがだいすきな 「あっちゃん」
なれっこくて すぐ よってくるのが 「にわちゃん」
こわがりやの 「ぴよすけ」
ひくいこえで ぽっぽとなくのは おんどりの
「ぽっぽさん」
むしを おいかけるのがだいすきな 「さくらちゃん」
じつはね、
さくらちゃんは みんなと ちよっとちがって
おもしろいんだよ。

ぬ く



④

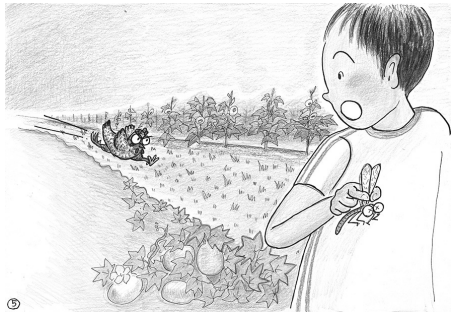
さくらちゃんは にわのさくを かんたんにとびこえて
いつも そとへ あそびにいくんだ。
すると となりのおばさんから

「うちのはたけのはっぱ たべちゃってこまるから
こないようにしてちょうだい」って おこられる。
つれもどそうとして おいかけると にげるんだ。
でもね、

ぼくが さきにたって 「ごっちへおいで」って
てまねきすると ついてくるんだよ。

そしたら さっと だっこして こやへ 入れるんだ。

ぬ く



⑤

あるひ、

ぼくが はたけで むしとりをして あそんでいると
うしろで パタパタという おと。

ふりむくと さくらちゃんだ。

さくらちゃんが こっちにむかって はしってきた。

あっ、また とびこえてきちゃったんだな
もうー！

ぼくは ふんぷんおこりながら

でも いつものように

「こっちへおいで」をやろうとしたら……

ぬく



⑥

(早く口調で)

コッコ コッコ ケケッコ コッコッコー

さくらちゃんは ぼくのまわりを ぐるぐると
はしりまわった。

えっ? なんだなんだ?
どうしたんだ!?

ぼくは もう びっくりで こんなことはじめてだった。
あわてて さくらちゃんに こえをかけた。

「さくらちゃん どうしたの?」

するとさくらちゃんは……

ぬ く



⑦

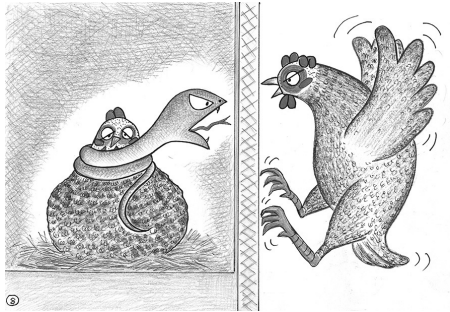
くるっと むきをかえて いま きた みちを
すごいはやさで もどっていつちやったんだ。

え・・・・・・・・・・?

ぼくは なにがなんだか わからないけど
すごく しんぱいになって
さくらちゃんのあとを おいかけた。

「おーい さくらちゃん まってよう」

線①まで め く



⑧

さくらちゃんは うちのにわの
にわとりごやのまえに いた。
なかにむかって はねをばたつかせ おこってるみたい
みると こやのなかに
「あれ？もふちゃん？」

線 ①

(すばやく わづかぬく)

ぎゃあ〜へびだあ〜

どろろろろ

どろろろろ

(ちんちんから)

ぼくは いそいで おかあさんを よびに はした。

ぬく



⑨

おかあさんは ちかくにあった ぼうを もつと
へびを つついた

へびは なかなか はなれない

こんどは じめんをばしばし たたいて

へびを おいはらおうとした。

もふちゃんは ぐったり。

さくらちゃんは こやのそとを いたり きたり。

そして・・・

ぼくは うごけなかった。

(じつじつとして、ゆっくりぬきながら)

やがて

へびは あきらめて こやから でていった。

ぬ く



⑩

ぼくは おかあさんってすごいなあ とおもった。

すると おかあさんは もふちゃんの おなかのしたにてを 入れた。

「あっ？ たまご！」

あら、もふちゃん たまごをかかえていたんだね。はじめてうんだ たまごだねえ。

へびは たまごが だいこうぶつなのよ。

へびから たまごをまもって えらいえらい」

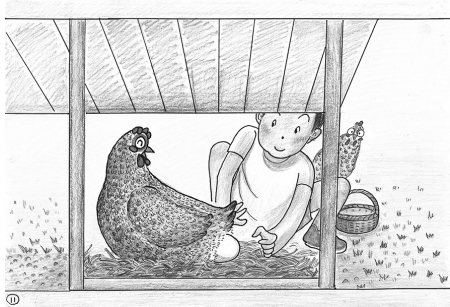
おかあさんは もふちゃんをやさしく なでた。

ぼくは さくらちゃんを ぎゅーっと だきしめた。

「さくらちゃん しらせてくれてありがとう」

おかげで もふちゃん たすかったよ」

ぬく



⑪

あれから、

うちの にわの めんどりたちは

おかあさんの つくってくれた

「たまごをうむばしょ」にはいって

たまごをよく うんでくれる。

もちろん さくらちゃんも。

あんしんできる ばしょなんだね。

にわの たまごあつめは ぼくのしごとだよ。

うんだばかりのたまごって あたたかいんだ。

なんだか ふしぎなきもちになる。

ぬく



⑫

ぼくのうちは たまごやさんだから
このたまごは だれかのうちの だれかのくちに
はこばれていくんだ。

「おいしい！」って 行って
たべてくれるといいな。
めだまやきや だしまきたまごかなあ。
ぼくは やっぱり たまごかけごはんが
だいすきだよ。

(あいだをあけて)

あつ！ さくらちゃんか また さくのそとへ
とんでっちゃった！

「さくらちゃん となりのはたけにだけは
はいっっちゃあ だめだよー」

おしまい